

化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス
 住 所 東京都中央区築地 6-19-20
 担当部署 品質保証部
 電話番号 03-3248-2208
 FAX 番号 03-3248-2243
 緊急連絡先 同上
 作 成 2005年4月 1日
 第5改訂 2012年8月1日*

MSDS No. 425011-(1), -(2), -(3)

製品名 DAB 基質キット

製品コード	構成製品名	成分	単一製品, 混合物の区別
425011			
-(1)	発色基質 (試薬 A)	3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩	混合物
-(2)	基質緩衝液 (試薬 B)	ポリオキシエチレンドデシルエーテル*	混合物
-(3)	発色試薬 (試薬 C)	0.6V/V%過酸化水素	単一物

適用法令：本品は体外診断薬であるため、薬事法に従う
成分の一覧及びその他の適用法令

番号		その他の適用法令
1.	3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩	非該当 (化学物質管理促進法、労安法、毒物劇物取締法、消防法、化審法)
2.	ポリオキシエチレンドデシルエーテル*	PRTR 法 (第一種指定化学物質) 別表第一 407*
3.	0.6V/V%過酸化水素	労安法：「文書交付の対象となる物質」政令第18条の2 別表第9の126 (0.1%以上) 毒物劇物取締法：劇物 (6%以下のため適用除外)

火災時の措置 消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
 消火剤 水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂。

漏洩時の措置

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり、吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8°Cで保存し、輸送する。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。
 含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

MSDS No. 425011-(1), -(2), -(3)

1. 3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩

物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物		
化学名	Biphenyl-3,3',4,4'-tetrayltetra ammonium tetra chloride		
成分及び含有量	3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩を 5V/V%未満含む。		
化学式／分子量	$C_{12}H_{14}N_4 \cdot 4ClH = 360.27$		
化審法公示番号	2-419		
CAS No.	7411-49-6 (3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩の CAS No. を示す。)		
国連分類	-----	国連番号	-----
PRTR 法	該当しない。	労働安全衛生法	該当しない。

危険・有害性の分類

分類の名称	分類基準に該当しない。
危険性	データなし。
有害性	飲み込んだり、吸入したり、あるいは皮膚に触れると有害である。
環境影響	データなし。

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいをさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。 ・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。 ・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。 ・ 容器は直射日光を避けて保管する。*

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	液体。	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----
溶解性	水に可溶。		

危険性情報

安定性、反応性 通常状態では安定な個体である。光、湿気、直射日光に不安定。強酸化物と不可逆反応を起こす。着火源により、燃焼する可能性がある。

有害性情報

急性毒性	-----	経皮投与	-----
慢性毒性	-----	変異原性	-----
がん原性	マウス（経口）TDL ₀ 260g/Kg/78W: 肺や胸部に腫瘍形成 マウス（経口）TDL 520g/Kg/78W: 肺や胸部に腫瘍形成 ラット（経口）TDL ₀ 260g/Kg/78W: 肝臓に腫瘍形成		
刺激性	-----		
環境影響情報	-----		

廃棄上の注意

廃棄物業者へ委託して処理する。

2. ポリオキシエチレンドデシルエーテル***物質の特性**

単一製品、混合物の区別 : 混合物
化学名 : Poly(oxy-1, 2-ethanediyl), . alpha. -dodecyl-. omega. -hydroxy-
成分及び含有量 ポリオキシエチレンドデシルエーテルを 30%以下含む。
化学式／分子量 $(C_2H_4O)_n C_{12}H_{26}O$
化審法公示番号 7-97
CAS No. 9002-92-0
国連分類 ----- 国連番号 -----
PRTR 法 1-407 労働安全衛生法 該当しない。

危険・有害性の分類

分類の名称	-----
危険性	燃焼により、一酸化炭素等が発生する恐れがある。
有害性	眼、鼻、のど、皮膚、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす可能性がある。
環境影響	水生生物に毒性

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄する。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	水で口の中をよく洗浄する。多量の水を飲ませて胃内で薄めてもよい。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、

火災時の措置	消火方法	吐かせようとしてもいけない。 周辺火災の場合、本製品を安全な場所へ移動する。関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。燃焼または高温により有害ガス(一酸化炭素等)が発生する恐れがあるので、消火作業は風上から行い、呼吸保護具を着用する。
	消火剤	粉末, 炭酸ガス, 乾燥砂, 泡消化剤, 水。
漏洩時の措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋, 防塵マスク, 保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり、吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。 ・ 飛散したものは、土, 不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。 この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。 	
取り扱いおよび保管上の注意	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温物, スパークを避け、保管する。 ・ 吸い込んだり、眼, 皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。 ・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。 ・ 漏れ, あふれ, 飛散しないようにする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。
	保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。 ・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。 ・ 容器は直射日光を避けて保管する。
暴露防止措置	管理濃度	-----
	許容濃度	-----
	設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー, 手洗い, 洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
	保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。
物理／化学的性質	外観等	液体
	蒸気比重	-----
	沸点	-----
	蒸気圧	-----
	融点	-----
	比重	-----
	溶解性	-----
危険性情報	燃焼により、一酸化炭素等が発生する恐れがある。	
有害性情報	急性毒性	経口投与 ラット LD50 : >9g/kg
	慢性毒性	-----

変異原性	-----
がん原性	-----
刺激性	-----

廃棄上の注意 廃棄物業者へ委託して処理する。

3. 0.6V/V%過酸化水素

物質の特性

単一製品, 混合物の区別	: 単一物	
化学名	-----	
成分及び含有量	過酸化水素が 0.6V/V%含まれている。	
化学式/分子量	H ₂ O ₂ =34.01	
化審法公示番号	2-419	
CAS No.	7722-84-1	
国連分類	-----	国連番号 -----*
PRTR 法	該当しない。	労働安全衛生法 該当する。

危険・有害性の分類

分類の名称	酸化性物質
危険性	加熱などにより酸素を発生する。
有害性	眼、鼻、のど、皮膚、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、息切れなどを引き起こす可能性がある。目に入ると失明する恐れがある。
環境影響	-----

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいをさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法	周辺火災の場合、本製品を安全な場所へ移動する。関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火剤	水, 粉末, 炭酸ガス, 乾燥砂。

漏洩時の措置

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋, 防塵マスク, 保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり、吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・ 飛散したものは、乾燥砂, 土, 不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い

- ・高温物、スパークを避け、保管する。
- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。
- ・取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。

保管

- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
- ・ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。
- ・容器は直射日光を避けて保管する。*

暴露防止措置

管理濃度

許容濃度

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。
- ・取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等

液体

蒸気比重

沸点

蒸気圧

融点

比重

溶解性

エタノール、水に可溶。

危険性情報

分解して酸素を発生する。

有害性情報

急性毒性

経口投与 マウス LD50 2g/kg (H₂O₂として)

慢性毒性

変異原性

がん原性

刺激性

あり

廃棄上の注意

廃棄物業者へ委託して処理する。